

外観



神戸から西宮にかけて「灘五郷」と呼ばれる酒どころが点在している。その灘五郷の一つで「魚崎郷」と呼ばれるところに魚崎駅は位置している。

トイレ入口



バリアフリー配慮として、段差をなくしたトイレ入口。入口には、視覚障がい者の方が、トイレ内の設備を確認できる触地図を掲示している。

女性トイレ ひろびろブース



小さなお子様連れに配慮し、ベビーカーごと入ることができる、ベビーチェアを備えたひろびろブースを男女トイレに1ヶ所設置。ドアは開口部を広く確保できる折戸を採用している。

女性トイレ パウダーコーナー



両側に照明を備え顔に影ができにくく、お化粧直しがしやすい化粧鏡を設置。洗面コーナー同様、棚やフックなど荷物配慮も充実している。

男性トイレ 洗面コーナー



洗面器の水栓金具は、水じまいがよく節水効果も図れる壁付の自動水栓を採用。棚やフックなど荷物配慮も充実している。

男性トイレ 小便器コーナー



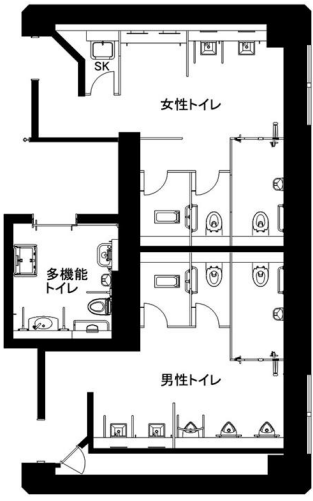
床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の低リップタイプ自動洗浄小便器を採用。すべての小便器に手すりを設置している。

多機能トイレ



2005年に改修した多機能トイレ。車いす使用者や小さなお子様連れ、オストメイトの方など、さまざまな使用者に配慮して、汚物流し・ベビーシート・ベビーチェアを完備している。

トイレ図面



男性トイレ 大便器ブース



小便器同様すべての大便器ブースに手すりを設置。大便器は床の清掃性に優れた壁掛式を採用し、すべてにウォシュレットを設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



節水性の高い自動水栓を備えた洗面器を採用。隣の人の視線が気にならないように個別鏡を設置している。

建築概要

名 称	阪神電車 魚崎駅
所 在 地	神戸市東灘区魚崎中町4丁目7番1号
施 主	阪神電気鉄道株式会社
設 計	阪神電気鉄道株式会社
施 工	(株)ハンシン建設 リニューアル事業本部
竣 工 年 月	(改修)2013年12月

水まわりの特長

<改修の経緯>
阪神電気鉄道では、「“たいせつ”がギュッと。」のキャッチフレーズの下、2013年7月から沿線の魅力や鉄道施設における取組みを積極的に発信して行く「沿線活性化プロモーション」を展開。その中の一つのテーマとして、より清潔で快適な駅を目指す「阪神電車クリーンアップ作戦」を実施している。お客様満足度の向上を図るために実施したお客様アンケートでは「トイレが臭い」「段差がある」「ベビーカー対応がない」などの苦情が多かったこともあり、駅構内のトイレ改修を順次実施している。今後、美装化を進めると共に一般トイレの洋式化及びウォシュレット設置を実施予定である。

<トイレの特長>
改修に当たっては、トイレ入口の段差をなくしバリアフリー化を実現している。また、高齢者や小さなお子様連れなどに配慮して、大便器・小便器・洗面器に手すりを設置し、男女トイレにベビーカーごと入ることができる、ベビーチェアを備えた大便器ブースとなっている。さらに、身だしなみへの配慮としてパウダーコーナーの設置、荷物配慮としての棚やフックの整備、お客様から要望が多かったウォシュレットの採用など、駅構内トイレとしての清潔性・機能性に加え、お客様をおもてなしする心が表れたトイレ空間となっている。